

日本食肉加工情報

毎月1回発行

4

2022 APR.

No.862

CONTENTS

●特集

令和3年食肉加工品の動向

●窓

第77回 極東貿易株式会社 フード・エンジニアリング部長
NSK会 副会長 徳増 裕文氏 「世の中の流れに沿って」

●業界をめぐる動き

- ・3月役員会の開催について
- ・令和3年度 後期技能検定ハム・ソーセージ・ベーコン製造試験について
- ・令和3年度後期技能検定実技試験を終えて
- ・「食肉製品の規格と表示に関する研修会」開催報告
- ・HACCPシステムに基づく衛生管理講習会(食肉製品)
【専攻編・オンライン講習】の修了報告について
- ・「第56回スーパーマーケットトレードショー2022」開催
- ・関係省庁からの情報提供などについて(会員組合員宛配信情報)
- ・食肉科研(KAKEN)コラム #80

●ひろば

第75回 十勝池田食品株式会社



内容をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

令和3年食肉加工品の動向

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合

令和3年食肉加工品に関する年間統計資料がまとまりましたので、お知らせいたします。

1. 生産量

令和3年の食肉加工品の合計生産量は、543,871.8トン(対前年比98.9%)となり前年に比べて減少(-5,951.5トン)しました。その内訳は、ハム類109,602.2トン(同97.6%)、ベーコン類97,333.2トン(同99.2%)、ソーセージ317,164.2トン(同99.7%)、プレスハム19,772.2トン(同93.7%)となりました。

2. 仕向肉量

製品製造のための原料肉の仕向肉量は、452,530.4トン(対前年比101.0%)と増加しました。その内訳は、豚肉が379,520.6トン(同100.6%)、鶏肉が54,136.9トン(同99.9%)となっています。豚肉のうち国内物はおよそ2割弱を占めており、対前年比102.9%と昨年から増加しています。

一方、豚肉調製品に属するシーズンドポークは、128,247.0トン(同103.9%)と増加しており、仕向食肉を含めた全体に占める割合は…

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp